

# 令和4年 第2回定例会 一般質問内容一覧

日時 6月3日(金) 午前9時30分～(質問順：1番から2番)

場所 新宮町役場 3階 議事堂

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	温水 眞 議員	1) 町債を縮減するための施策を	<p>本町の財政運営は単年度ごとの決算は、歳入が歳出を上回り、健全な財政運営がなされていて、各指標上も特に問題はないと思える。</p> <p>しかしながら近年の新設小・中学校の建設に伴い、地方債の残高は大幅に拡大した。また既存施設の長寿命化に伴う改修費などの維持管理費も継続的に見込まれる中で、今後、普通会計の町債現在高約140億円を減らしていくための財政運営が必要と考える。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 本町の財政規模で、妥当な町債残高はどの位なのか。</li><li>2 新宮北小学校、新宮東中学校建設にかかった各々の事業費とそれに伴う各々の町債発行額は。</li><li>3 財政シミュレーションでは、令和12年度に町債現在高が約109億円と試算しているが、より一層減らす必要があるのではないか。公務員の定年延長もあり、今後も人件費は上昇すると考えられる中で、経常経費をどの様に削減していく考えなのか。</li><li>4 第6次総合計画では、ふるさと寄附金の拡充とあるが財政シミュレーションでは年間2億円と見積もられている。令和12年度までの歳入、歳出に対する今後の見通しについての現段階での考え方は。</li><li>5 現在計画中的の下府・湊地区地区計画、三代地区地区計画の他に、計画されている多額の予算を伴う案件があるのか。</li></ol>	町長
2番	大牟田 直人 議員	1) SOSを出しやすいまちづくりを	<p>近年、いじめ、自殺、児童虐待、体罰、DV等、不幸な事件が報道されている。これらのことから町民を守るためには、地域、学校、家庭が一体となって、SOSを出しやすいまちづくりをしていくことが不可欠であると思う。</p> <p>これらに対応するため、SOSの出し方や受け止め方の教育を行うことが重要だと考える。特に子どもは成長の過程にあり特別な配慮が必要であるため、子どもの権利条約の第12条に記されている意見を表す権利を広く周知し、日頃から子どもが自分の思いを表明できるまちをつくるのが大切であると思う。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 SOSの出し方や受け方教育の充実が大切だと考えるが現状および今後の取り組みは。</li><li>2 子どもたちが日ごろから自分の考えを表明できる町、SOSを出しやすい町は、全ての人からSOSを出しやすい町につながると思う。そのような町にするために、子どもの声を聴き、子どもの権利を守る「子どもアドボカシー」の考え方を町民に広げることができないか。</li></ol>	町長 教育長

・質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

※役場、シーオーレ新宮、そぴあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。ぜひ一度ご覧ください。

※お手元のパソコン及びスマートフォンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。

※議場での傍聴を希望される方は、当日午前9時から**役場3階 議会事務局前**で受付を行っていますので、お越しください。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737 (直通)までお問い合わせください。

**議会の傍聴にお越しください。**